令和3年度
（令和4年度事業）
高知市共同募金委員会
助成事業実施報告書

高知県共同募金会高知市共同募金委員会

◇目的

誰もが安心していきいきと暮らせる地域社会を実現するため，地域を良くしていこうと活動する福祉団体やボランティア団体等を支援する。

◇助成の種類

(1)高知市広域福祉活動支援事業

〇対 象 事 業：広域的で公益性の高い活動及び事業に対し，助成を行う

〇対 象 団 体：社会福祉団体，特定非営利活動法人，ボランティア団体等

〇助成限度額：総事業費の90%，最大20万円，但し同一事業に対する継続助成は最大3年

(2)小地域福祉活動支援事業

〇対 象 事 業：小地域により良い具体的な変化が期待される活動及び事業に対し，助成を行う

〇対 象 団 体：町内会，自治会や地域コミュニティ組織等

〇助成限度額：総事業費の90%，最大10万円，但し同一事業に対する継続助成は最大3年

(3)地域福祉推進事業

〇対 象 事 業：高知市社会福祉協議会が行う地域福祉の活動及び事業に対し，助成を行う

〇対 象 団 体：高知市社会福祉協議会

〇助成限度額:なし，但し単年事業で継続助成は原則5年

◇助成決定額

(1)高知市広域福祉活動支援事業 ： 9団体，1,171,000円 （内，2団体が辞退）

(2)小地域福祉活動支援事業 ： 9団体，788,000円

(3)地域福祉推進事業 ： 0件

◇事業募集から助成金交付までの流れ

［受 付 期 間］ 令和3年12月1日～令和4年1月15日

［ 審 査 ］ 令和4年2月24日(審査委員会)

［ 決 定 ］ 令和4年3月28日(運営委員会 書面開催)

［事業実施期間］ 令和4年4月1日～令和5年3月31日

～目次～

□高知市広域福祉活動支援事業（7団体）

こうちよさこいバリアフリー実行委員会・てんてこ舞・・P1

高知市町内会連合会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2

こども食堂ミームclub実行委員会・・・・・・・・・・・・・P3

サードプレイスすろーを支える会　ふらっと・・・・・・P4

ユニバーサルビレッジito ・・・・・・・・・・・・・・・・・P5

おんちゃんクラブ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P6

高知県ボッチャたのしむ会・・・・・・・・・・・・・・・・・P7

□小地域福祉活動支援事業　(9団体)

潮江南地域連合会(潮江地区)・・・・・・・・・・・・・・・P8

シルバーサロン笑話会（鴨田地区）・・・・・・・・・・・・P9

コミュニティカフェ御畳瀬みなや（御畳瀬地区）・・・・P10

ふなつきばの子ども食堂（長浜地区）　・・・・・・・・・・ P11

サークル「花」（朝倉地区）　・・・・・・・・・・・・・・ P12

こども食堂かもだ実行委員会（鴨田地区）　・・・・・・・ P13

子育てサロンあさひグループ（旭地区）　・・・・・・・・P14

久重地域連携協議会（一宮地区）・・・・・・・・・・・・・P15

ヤングジェネレーション高知（旭地区）・・・・・・・・・P16

１．団体名（事業名）　　**こうちよさこいバリアフリー実行委員会・てんてこ舞（よさこい参加事業）**

２．総事業費　　1,480,320円　　（　**助成金** 150,000円　　**その他財源**　1,330,320円　）

３．主な使途　　よさこい衣装（頭巾）購入費用，よさこい地方車キャンセル料

４．実施内容　　（※完了報告書より抜粋）

高知市で開催された「よさこい祭り特別演舞」に出場するべく衣装と地方車の準備を行っていましたが，新型コロナウイルス感染者数の増大に伴い，参加辞退者が続出して踊り子体制の維持が難しくなったこと，また，感染対策をしっかりとったとしても感染のリスクがあり，安心して祭りを終える保証が出来ないため，踊り子隊としても「特別演舞」への出場を辞退しました。

2022　てんてこ舞
衣装（頭巾）

５．ありがとうメッセージ

最終的にはよさこい祭りへの参加は叶いませんでしたが，助成いただけたおかげで，ほぼ万全な準備ができていたと思います。今回の経験を活かし次年度のよさこい祭りに向け活動していきたいと思っています。

６．審査委員からのコメント

次年度に向けての前向きな姿勢は良いと思います。

団体の活動を充実できるように，物品の購入だけではない活用を工夫してほしいです。

７．職員所感

よさこい祭りは参加を辞退せざるを得ない状況となり，今回助成金を活用した衣装（頭巾）は次回に活かされると考えます。

年齢、性別や属性などに関わらず，一堂に集まり，交流し，生きがい・やりがい作りの場として，多くの人にとって必要な活動になっていることから，活動が継続されることが期待されます。

１．団体名
（事業名）

高知市町内会連合会
（広報活動）

２．総事業費　1,133,434円　（　**助成金** 150,000円　**その他財源**　983,434円　）

３．主な使途　年2回，各町内会・自治会へ配布する会報の発行に伴う作成費用

４．実施内容　（※完了報告書より抜粋）

当連合会では，年2回会報を発行しています。
9月号，1月号共に高知市にある町内会・自治会に配布し，組織の拡大を図っています。
この度の助成金により，紙面の一部をカラーに変更し，わかりやすく，読みやすくなるよう更新しました。会員からも大変好評いただいております。

作成した会報

会報作成にかかる会議の様子

５．ありがとうメッセージ

この度は，広報活動（会報の発行）に助成金を活用させていただきありがとうございました。
当連合会は，少ない予算で運用・活動をしておりますので，大変助かります。これからもよろしくお願いいたします。

６．審査委員からのコメント

紙面をカラーにした点は良かったと思います。
会員拡大に向けて，会報のスタイルを変え，経費を抑える工夫が必要かと思います。

７．職員所感

年2回（9月・1月）に発行している会報は，町内会連合会に加入している町内会・自治会へ配布され，その会報には「赤い羽根共同募金からの助成を受けている」ことの記載をしていただいており，赤い羽根共同募金が地域活動に活用されていることを知ってもらう機会になってます。

１．団体名（事業名）　　**こども食堂ミームclub実行委員会（こども食堂）**

２．総事業費　570,000円　（　**助成金** 100,000円　**その他財源**　470,000円　）

３．主な使途　栄養改善と孤食防止に向けた食の提供，畑作業体験の消耗品購入他

４．実施内容　（※完了報告書より抜粋）

子ども食堂を開催，孤食の防止，生活困窮者の栄養不足改善，季節の行事などを取り入れた食育などの取り組みを目的とした食事を提供しました。コロナ禍において弁当，物品の配布，ボランティアの皆さんが参加することで生きがい，やりがいを感じられるみんなの居場所となりました。また，畑作業を体験することで食の大切さなどを学ぶ食農教育活動ができました。

畑作業の体験の様子

ケーキ作りの様子

弁当作りの様子

５．ありがとうメッセージ

この度は，助成金を活用させていただきありがとうございました。お陰様で子ども食堂を利用する人，ボランティアで参加する人，みんなの居場所となっています。また，畑作業などの体験を通して食農教育の活動を広げることができ大変感謝しています。

６．審査委員からのコメント

食と農の教育は素晴らしい取組みだと思います。

７．職員所感

畑作業体験では，食の大切さを学ぶだけでなく，学生ボランティアや地域の方と一緒に作業することで多世代が交流できる機会にもなっています。今後もこの活動を通じて，子どもたちだけでなく，地域の様々な住民の居場所として継続していただきたいです。

１．団体名
（事業名）

サードプレイスすろーを支える会　ふらっと
（障がい者，シニア等の居場所づくり）

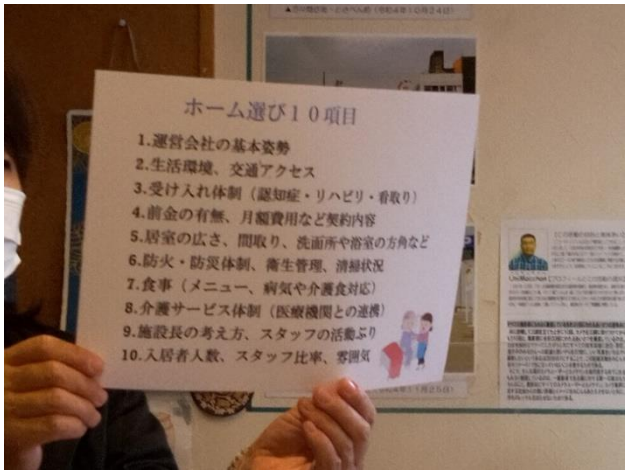
２．総事業費　131,000円　（　**助成金** 120,000円　**その他財源**　11,000円　）

３．主な使途　カルチャー教室の実施するための会場代

４．実施内容　（※完了報告書より抜粋）

障がいの有無に関わらず，生きづらさを抱えている人たちと共に，カルチャー教室を当会が平成26年より実施してきました。コロナ禍で，現在も個別または，数人単位で随時，社会のルールの学び，会話の楽しみ，趣味づくり等への刺激，自己達成を体感するチャンスの場として実施してきました。

コロナ禍によって，社会参加の場所が制限され，鬱傾向のシニア世代の方から，孤立感を多く耳にしています。随時，主に木，金曜日に会話を楽しみながら，孤立感の軽減，生きる喜びを体感する場を設けたり，話題の中心となる終活関係の学習会（細木病院の出前講座等の利用）を持ったりしました。
上記の目的の為，ボランティアが，カフェ「サードプレイスすろー」を借りて実施しています。中心地にあるカフェというこの場所が，敷居が低く入りやすく，目的達成の場所として適しています。



カルチャー教室開催時の様子（施設選びのポイントについての講座）

５．ありがとうメッセージ

このカルチャー教室は，ちょっとした知識をつけたり，気軽に話をしたり，困りごとや体のことを言ってみたりできる心地よい場所になっております。赤い羽根共同募金を補助をしてくださっていることに，利用者と共に厚く感謝申し上げます。

６．職員所感

行き慣れた場所を活用し，カルチャー教室を開催することで，安心して参加できる環境になっております。このような環境でカルチャー教室を開催することが，学びだけでなく参加者同士の交流できる機会にもなっています。

１．団体名（事業名）　**ユニバーサルビレッジito（親子青空保育園）**

２．総事業費　1,421,700円　（　**助成金** 160,000円　**その他財源** 1,261,700円　）

３．主な使途　親子青空保育園を実施するための会場代

４．実施内容　（※完了報告書より抜粋）

親も子も青空の下楽しくおいしい体験，自然栽培などをすることにより，仲間作りをする機会を創っています。芋の植え付けやとうもろこしなどの収穫の体験，お絵描きやレクリエーションなどの遊び，みんなで昼食など，体験経験を表現する機会を作り，食と遊びの大切さ，自然環境改善法を伝え，育ち合い，助け合うコミュニティを作ることを目指し活動しました。

親子青空保育園に参加した親子の様子

５．ありがとうメッセージ

子どもたち，お母さんたちが育ちあう親子青空保育園に助成いただきありがとうございました。ito（いと）と名付けた借家の家賃を助成してもらえて暑い日も寒い日も雨の日も安心して活動できて笑顔があふれました。

６．審査委員からのコメント

子どもたちだけでなく，お母さんたちの育ち合いになっており，コミュニティの形成につながっていると思います。

７．職員所感

コロナ禍でとじこもりがちな親子の居場所を作ることを目的に，工夫の凝らした内容を企画・実施されていました。

助成金を会場代に活用することで，天候に関係なく，親子が安心して活動できる場となっております。今後も親子の居場所として，活動継続をしていただきたいと思います。

１．団体名（事業名）　**おんちゃんクラブ（おんちゃんクラブ）**

２．総事業費　115,830円　（　**助成金** 75,000円　**その他財源**　40,830円　）

３．主な使途　ボッチャ道具一式とコロナ感染予防のための消耗品購入費用

４．実施内容　（※完了報告書より抜粋）

私たちは男性の閉じこもりをなくし，男性の居場所ややりがいとなる活動をめざしています。ボッチャ倶楽部あさひを立ち上げ，市内3カ所で約40名の会員を有し，ボッチャを開催しています。ボッチャに関わる資材等の費用が高額で，会費でまかなっていますが，助成していただき大変助かっております。次年度は，地域での大会や，子どもとの交流，体験会も増やしていきたいと思います。

ボッチャの様子

５．ありがとうメッセージ

おんちゃんクラブでは，ボッチャの他，作品展やファッションショー，野外活動を計画しています。仲募集中です。

いろいろな活動が出来るのも御寄付のおかげです。ありがとうございました。

６．審査委員からのコメント

会員も多く，活動内容にも広がりが見られます。

７．職員所感

今年度も男性高齢者の閉じこもり防止を目指して，助成金を活用し，様々な場所で精力的に活動されていました。また，助成金を活用し新型コロナウイルスの感染予防の為の消耗品を購入することで、コロナ禍での活動継続につながっております。

今後はボッチャに加えて，新たな取組を計画されており，より多くの地域の方々の居場所や生きがいづくりにつながっていく活動だと感じています。

１．団体名（事業名）　**高知県ボッチャたのしむ会（屋外でボッチャを始めよう）**

２．総事業費　717,992円　（　**助成金** 166,000円　**その他財源**　551,992円　）

３．主な使途　ボッチャ道具一式の購入費用

４．実施内容　（※完了報告書より抜粋）

ボッチャボール・審判器具・得点版2セット購入する事により，体験会依頼日が重なっても対応できるようになりました。重なった場合の対応の選択肢が増えました。

2023年1月には親睦大会を開催する事が出来ました。大会参加者の方々にお礼を言われ，年に4回位のの開催を検討してほしいと言われました。主催者側としてはありがたい，やってよかった，念願がかないました。

購入したボッチャ備品

ボッチャの様子

５．ありがとうメッセージ

募金にご協力いただいた高知市民の皆様にお礼を申し上げます。この度，私ども高知県ボッチャたのしむ会は助成金を頂く事になりました。予てより念願であったボッチャボール・得点版・審判器具2セット購入する事が出来ました。改めて皆様のご好意に対して会員一同心よりお礼を申し上げます。
ありがとうございました。体験会が重なっても引き受けることが出来るようになりました。また大会も開催出来るようになりました。事業実施する事により多くの方たちと繋がる事ができ，来年度に向けての方向性が少しではありますが見えてきたように思えました。

６．審査委員のコメント

男性参加を促すことは，良い取組みだと思います。

７．職員所感

助成金を活用し,誰もが楽しむことのできるスポーツ・ボッチャの体験会や大会を様々な場所で実施されています。ボッチャを通して参加者の健康づくりや生きがい,仲間づくりにもつながっていると感じます。今後も活動啓発を続けていただくことで,多くの地域の方々の居場所になっていってほしいと思います。

１．団体名　　**潮江南地域連合会**　　**《潮江地区》**
（事業名）　　**（子どもたち（地域）の学習支援・生活支援と地域（高齢者）の健康増進）**

２．総事業費　174,009円　（　**助成金** 94,799円　**その他財源**　79,210円　）

３．主な使途　事務用品等の消耗品購入費用

４．実施内容　（※完了報告書より抜粋）

平日の朝は，特に曜日を決めておらずきびしい家庭状況の児童などに登校時に教職員による聞き取りを行い，欠食している場合は朝食の提供を行いました。当団体が実施している対象となる潮江南小学校における全児童数は，257人となっています。主として，当該児童を対象とした朝食の支援を学校内で行っています。なお，学校外の場所で毎週月曜日の午前7時半から子ども食堂を開設しています。そこにおいては対象を限定しておらず，子どもから大人まで対象としています。

学習・イベント・工作・講演などの「みなみ学習」を11:00～12:00，12:00～昼食となる「みなみ食堂（子ども食堂）」を開設しました。

工作の様子

餅つきの様子

５．ありがとうメッセージ

助成金誠にありがとうございました。子どもたちの生活・学習支援，また高齢者の健康増進を目指して，子ども食堂を展開し，地域交流の場「居場所づくり」が少し構築できたのではないかと思います。今後，この活動を地域に定着，かつ周知することを考えています。地域の拠点である学校を介して，地域の課題解決に向けた取り組みは，少子化・高齢化の中できっかけとなる「子ども食堂（居場所づくり）」が重要と考えています。この度の助成金で，そのきっかけ作りができたと感じ，また地域からの必要性が数値として分析できたことで，「子ども・保護者」「地域」「学校（公的機関）」が連携しながら進めるように取り組んでまいります。

６．審査委員からのコメント

地域の交流と繋がりができるいることが良いと思います。朝食の欠食児童への提供，支援や子ども食堂，学習活動と幅広い活動ができています。

７．職員所感

厳しい家庭状況の児童に朝食の提供をし，長期休業期間においては学習支援も実施され，子どもや親にとっての居場所になっております。 子ども食堂の活動をきっかけに，親子，地域，学校が連携しながら取組の継続をしていただけたらと感じます。

１．団体名（事業名）　**シルバーサロン笑話会（シルバーサロン笑話会の月例会）**　**《鴨田地区》**

２．総事業費　65,982円　（　**助成金** 59,000円　**その他財源**　6,982円　）

３．主な使途　講師謝金等，サロン活動を継続するための必要経費

４．実施内容　（※完了報告書より抜粋）

桂浜水族館・坂本龍馬記念館研修と公園内散策を行いました。当日は秋晴れで，浜風もなく波穏やかな水平線の景観と公園散策を満喫しました。水族館と龍馬記念館の特別企画展見学以外は自由行動とし，龍馬像展望台，砂浜，商業エリアなど散策しました。

11月例会では，龍馬の生まれたまち記念館学芸員の森本琢磨様を講師に，歴史講座「龍馬ゆかりの女性たち」の講演をいただきました。今回は特に参加者の要望に沿った内容で関心もあり，地元で講演会は全くない昨今，サロンで一緒に学ぶひと時は話題も生まれ好評でした。

研修時の様子

５．ありがとうメッセージ

今回も助成を頂き感謝です。多数が数十年ぶりの「近くて遠い桂浜」・・・リニューアルオープン直後の観光地でも平常日は殆ど貸切状態でゆっくりと楽しむことが出来ました。また新館増築で充実した龍馬記念館も新鮮でした。この3年間コロナ禍に惑わされながらも助成金でミニツアーと歴史講座を実施できたことは，プレミアム食事券も旅行補助金も利用困難な高齢者の唯一の恩恵でした。お力添えありがとうございました。

６．職員所感

コロナ禍で外出の機会が少なくなった課題に目を向け，お出かけや講演会等，参加者のニーズに沿って実施されております。3年間継続して実施され，地域の高齢者の方の生きがいづくりの場として貢献されていると感じます。

１．団体名
（事業名）

コミュニティカフェ御畳瀬みなや　　《御畳瀬地区》
（コミュニティカフェ御畳瀬みなや　キッチン改修事業）

２．総事業費　181,555円　（　**助成金** 100,000円　**その他財源**　81,555円　）

３．主な使途　コミュニティカフェの内容（飲食提供）拡大のための環境整備

４．実施内容　（※完了報告書より抜粋）

コミュニティカフェを開催する中で，孤食の課題等からカフェでの軽食等の提供を望む声が多く，キッチン改修を実施しました。キッチン壁面の防水加工の為，腰高までのステンレス板を取付けをし，衛生問題の改善が出来たので，今後軽食等の提供など内容の充実を図っていきたいと思います。

施行前

⇩　⇩　⇩

施行後

５．ありがとうメッセージ

この度はキッチン改修の助成を頂きありがとうございました。この事業により，水回りの衛生を改善することが出来ました。地域の方の憩いの場として，皆さんが安心して気持ち良く過ごせるよう務めて参りたいと思います。

６．審査委員からのコメント

コミュニティカフェの充実を期待しています。

７．職員所感

助成金をキッチンの改修事業に活用することで，カフェとして使用できる環境が整備され，住民が気軽に通えるコミュニティカフェとして，多くの方が安心して参加できる場となっております。

今後もコミュニティカフェの活動を通じて，地域の方々のつながりや居場所となっていただきたいです。

１．団体名（事業名）　**ふなつきばの子ども食堂（子ども食堂）**　**《長浜地区》**

２．総事業費　541,920円　（　**助成金** 80,000円　**その他財源**　461,920円　）

３．主な使途　大型図鑑などの図書及び本箱の購入

４．実施内容　（※完了報告書より抜粋）

貴助成金により，念願の大型図鑑1冊他図書及び本箱1個を購入することが出来ました。
今後の課題は，①学生ボランティアの募集，②開催回数週1回の実現，③蔵書数と本の充実をしていきたいと考えております。

購入した大型図鑑等の図書

購入した本箱

５．ありがとうメッセージ

おかげ様で，貸し出し図書室の実現目指して一歩前進することが出来ました。心強いご支援心から感謝いたします。今後の成り行きは随時ご報告申し上げます。ありがとうございました。

６．職員所感

子ども食堂の活動の中で，子どもが一人でふらっと来れる環境の整備が不十分だと問題意識を持ち，貸し出し図書の活動を開始されました。
今後も子ども食堂の活動を通じて，食事の提供と読書の環境を整備し，地域の子どもたちの居場所として継続していただきたいです。

１．団体名（事業名）　**サークル「花」（フラップテーブルの購入）**　**《朝倉地区》**

２．総事業費　139,150円　（　**助成金** 100,000円　**その他財源**　39,150円　）

３．主な使途　フラップテーブルの購入

４．実施内容　（※完了報告書より抜粋）

助成金を活用し，フラップテーブル5台を購入させていただきました。
「担ぐに及ばんき，楽になった。大事に使わないかん。」とサークル「花」13人全員で喜び合いました。後はサロンの開催が出来るのを待つばかりです。

購入したフラップテーブル

５．ありがとうメッセージ

「重たいものを担ぐに及ばんなったき，楽になった」「90歳の私でも準備や片付けが出来る」など，喜びの声が聞けています。後はサロンが開催できて，この喜びを住民の方達と喜び合うことです。

６．審査委員からのコメント

高齢者には持ち上げは大変なので助かると思います。サロンの開始を期待しています。

７．職員所感

助成金を活用して，参加者が負担なくサロンを継続できる環境づくりができています。
90歳の方の言葉にもあるように，高齢なってもサークル内でも役割が持てており，地域の中でも高齢者の生きがいづくりや健康づくりにつながっていると感じます。

1．団体名（事業名）　こども食堂かもだ実行委員会　《鴨田地区》
（鴨田地域の家庭への配食事業と子ども食堂の運営）

2．総事業費　1,033,447円　（　**助成金** 100,000円　**その他財源**　933,447円　）

3．主な使途　食支援での見守り活動に伴う必要経費

4．実施内容　（※完了報告書より抜粋）

2020年3月より，運営していた2箇所の子ども食堂を休止したため，配食を行いながら支援と見守りを行いました。子育て支援センターの保健師と鴨田地区のスクールソーシャルワーカーから，支援が必要な家庭の家族構成を報告いただき，子ども食堂かもだ実行委員会が助成金で食品を購入，又，各方面に食品寄贈を依頼し，準備をしました。

プライバシーの観点からお届けするのは主に保健師とスクールソーシャルワーカーが行いましたが，一部の家庭には，子ども食堂のスタッフも届けることができました。

保健師やスクールソーシャルワーカーからの要望で訪問家庭が増加し，2月現在で35世帯131名に増加しています。11ヶ月間で12回，延べ401世帯1603名(内子ども979名)，参加ボランティアは，毎月10数名程度が懸命に活動してくれています。

また，2023年2月25日には，3年ぶりに子ども食堂をお弁当形式で再開することができました。近隣にビラ200枚を投函，毎月の食品支援家庭35世帯への配布など広報を行った結果，62個の弁当が15分でなくなるなど，改めてニーズを感じました。今後は毎月第4土曜日に開催していく予定です。

活動者の方々

食支援に向けた準備

5．ありがとうメッセージ

みなさまのご寄付のおかげで，鴨田地区の支援が必要な家庭に，ささやかではありますが食品を配布することができて，有難く思っています。きっと配布先のみなさんにも喜んでいただけていると思います。保健師やスクールソーシャルワーカーからも感謝の言葉をいただいています。

本当にありがとうございました。活動は継続していきますので，応援よろしくお願いいたします。

6．審査委員からのコメント

保健師やスクールソーシャルワーカーとの連携が上手くできていると思います。

7．職員所感

支援が必要な家庭に，2020年より継続的に支援，見守りを行っており，訪問家庭も年々増加しています。また，お弁当配布の形で子ども食堂も再開されてり，地域のニーズに沿った活動をされており，鴨田地区において，支援を必要とされている家庭の為に今後も重要な役割を果たすことが期待できます。

１．団体名（事業名）　**子育てサロンあさひグループ（赤ちゃん誕生おめでとう訪問）**　**《旭地区》**

２．総事業費　120,442円　（　**助成金** 80,000円　**その他財源**　40,442円　）

３．主な使途　離乳食用スプーン，昆布茶，包装用品等

４．実施内容　（※完了報告書より抜粋）

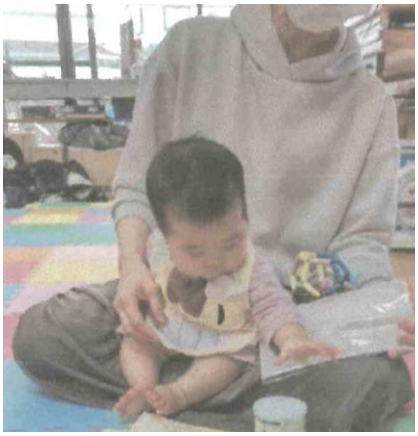
助成金はお祝い品の昆布茶や離乳食用スプーン，子育てサロン周知のためのチラシの印刷費用などに活用させていただきました。保健師さんと連携を取りながら令和4年12月現在までに51件の赤ちゃん訪問を行いました。立ち上げ当初よりも訪問を希望する声がかなり増え，活動者にとってもやりがいを感じています。

子育てサロンもチラシでの周知効果もあり，コロナ禍の中でも毎月2～3組の親子が参加してくれています。コロナ禍だからこそ，育児不安を抱えた母親の不安解消やストレス発散になっていると感じています。

旭地区には71の地域があり，今後も希望の声が増える事は嬉しいですが，資金に限りがあるため，活動の範囲が限られてくることが課題と感じています。何とか財源を確保し，今後も希望の声に応えられるよう，活動を継続させていきたいです。

赤ちゃん訪問時の様子

お祝い品の離乳食スプーン


子育てサロンの様子

５．ありがとうメッセージ

自己資金で活動しているため，助成金をいただけて本当に感謝しています。今年は中央公園での街頭募金にも参加させていただきましたが，寄付者の皆さまのあたたかい気持ちを大切にして活動しています。今後もこの活動を継続して，子どもや子育て世代が地域と繋がり，子育てしやすい地域づくりを推進していきたいと思っています。

６．審査委員からのコメント

訪問を希望する声が増えており，活動が地域に定着していることが分かります。

７．職員所感

現代の社会問題の1つである，少子化問題や地域のつながりの希薄化への取り組みの1つだと考えます。51件の訪問活動をすることができ，助成金を活用したお祝い品を持っていくことで，地域の方と子育て世代の方がつながるきっかけになっています。

また，訪問時に子育てサロンの情報を伝えることで，訪問後にも地域住民，子育て世代の親同士がつながる機会になっていることから継続していただきたいと考えます。

1．団体名（事業名）　**久重地域連携協議会（ほおっちょけんの久重づくり事業）**　**《一宮地区》**

2．総事業費　108,664円　（　**助成金** 94,000円　**その他財源**　14,664円　）

3．主な使途　オレンジポスト回収交通費，講師謝礼，印刷費

4．実施内容　（※完了報告書より抜粋）

「ほおっちょけんの久重づくり事業」は支え合いの地域づくりを目指して，オレンジポストの運営を根幹に進めてきました。さらに今年度は，計画を進めるため「第2期久重のまちづくり計画」の策定に取り組み，計画をまとめることができました。策定会議には小中高校生が多数参加し，計画策定後は計画推進委員会委員として，計画推進の実行部隊として活躍することを期待しています。

また，この若者たちは，「久重youth（わかもの）」を結成するための準備を進めており，今後は彼らを牽引者として計画に基づく地域づくりを進めていくことが課題となっています。

久重まちづくり計画策定会議の参加者

久重まちづくり計画策定会議の様子

5．ありがとうメッセージ

いただいた助成金を活用し，支え合いの久重地域づくりをめざした「ほおっちょけんの久重づくり事業」を進めてきた結果，まちづくり計画の策定と計画推進部隊を作り上げることができました。計画推進部隊の中心には小中高校生の「久重youth（わかもの）」が結成され，今後のまちづくりを力強く進めてくれることが期待されており，地域の未来に希望と輝きをもたらせてくれています。

6．審査委員からのコメント

小学校・中学校・高校の学生を巻き込んだ活動は，将来に活きると思います。

7．職員所感

助成金の活用により，オレンジポストの運用ができ，地域住民の声が届いています。計画策定アドバイザーを招待し，集約した地域の住民の声を元に，多世代が参画した「第2期久重のまちづくり計画」の策定が実現されました。

今後も久重地区の地域課題解決に向け，地域福祉活動に活かしていただきたいと思います。

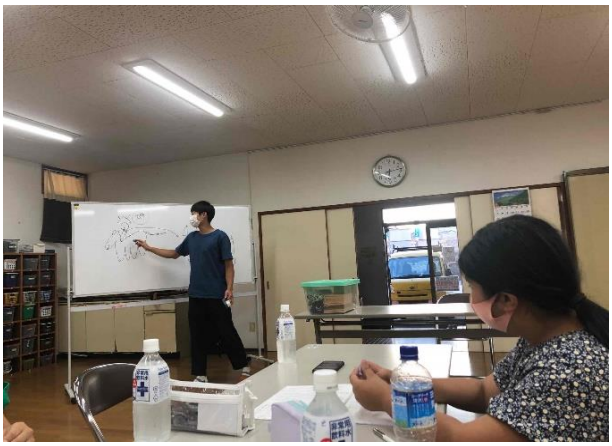
1．団体名（事業名）　**ヤングジェネレーション高知（ごきげんひろば）**　**《旭地区》**

2．総事業費　89,138円　（　**助成金** 75,000円　**その他財源**　14,138円　）

3．主な使途　講師謝礼,交通費

4．実施内容　（※完了報告書より抜粋）

若者が地域に入って子どもたちと触れ合う機会として，①カードゲーム教室，②将棋教室，③屋内お花見を行いました。地元地域の若者や，運営メンバー，大学生にはその都度「先生」として子ども達に得意なことを教えてもらいました。また子ども達と一緒になって屋内お花見を企画運営することで，若者自身も，子どもたちも，地域の中での関係が広がり深まりました。夏のコロナ禍の余波が続いたことにより，敬老会等が中止になってしまい，老若男女の交流が制限され，他に手が打てなかったことが課題点であると考えています。



大学生が子どもたちに教えている様子

カードゲームの様子

5．ありがとうメッセージ

子ども達の楽しそうな喜ぶ笑顔に,運営スタッフや大学生,地域の若者も大変やりがいを感じることができました。老若男女がいきいきと交流できる場をこれからもつくっていきたいです。この度はありがとうございました。

6．審査委員のコメント

老若男女の居場所づくりが良いと思います。

6．職員所感

若い世代が地域の中で活躍できる場づくりの為に，様々な企画を考えて実施されていました。運営メンバーだけでなく，地域の若い世代の方と一緒に活動をすることで，地域の中での関係が広がり，深まったことは一つの成果だと感じます。

若い世代が活躍でき，更に多世代が交流し,つながる場所となることが今後も期待されます。

令和５年度高知県共同募金委員会高知市共同募金委員会の様子

令和3年度(令和4年度事業)
高知市共同募金委員会助成事業完了報告書

作成日　2023年8月25日
発行者　高知県共同募金会高知市共同募金委員会
連絡先　〒780-0850　高知市丸ノ内1丁目7番45号
総合あんしんセンター3階
TEL：088-823-9570
FAX：088-856-5549